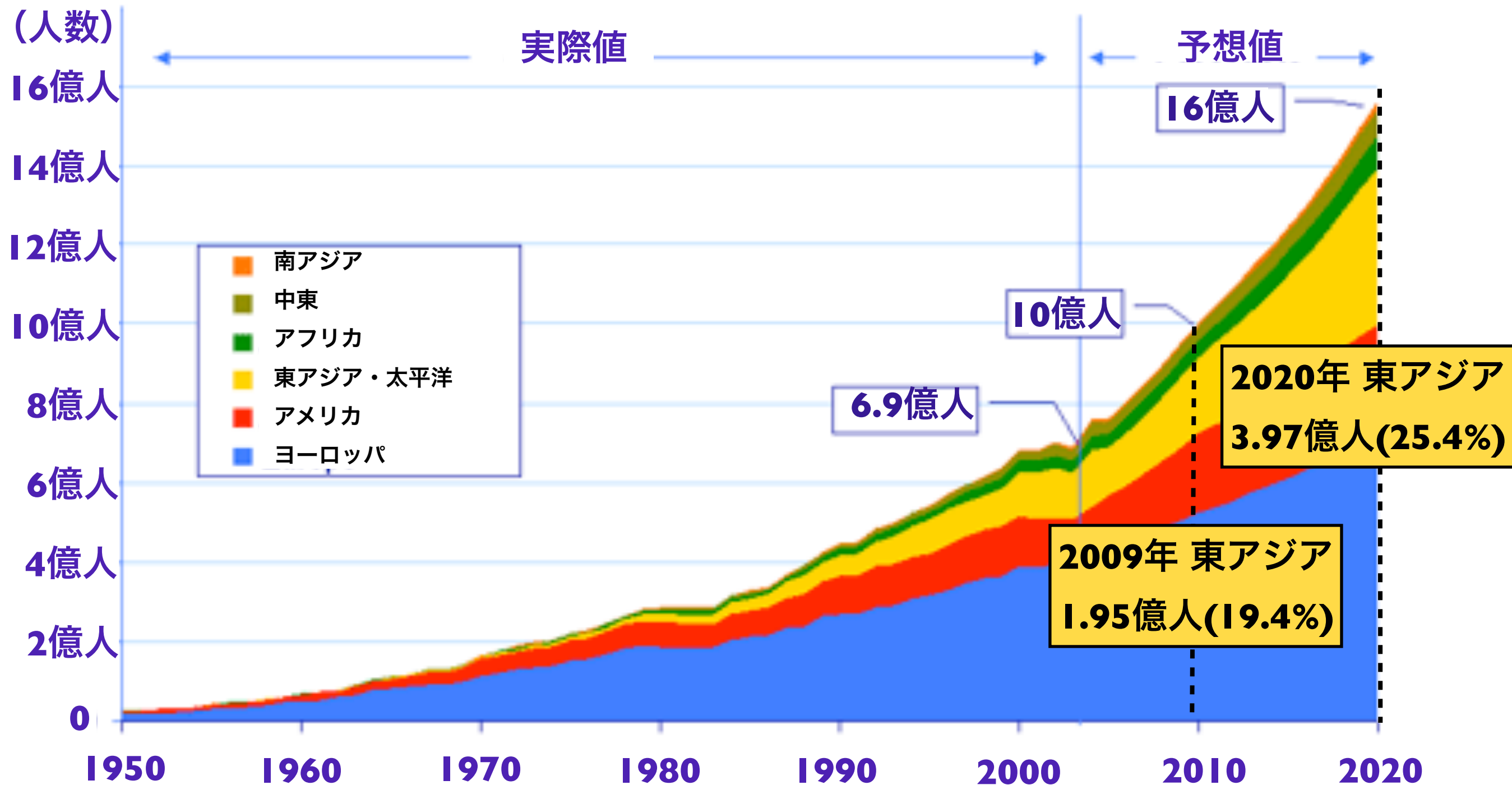


需要の平準化

平成21年12月21日

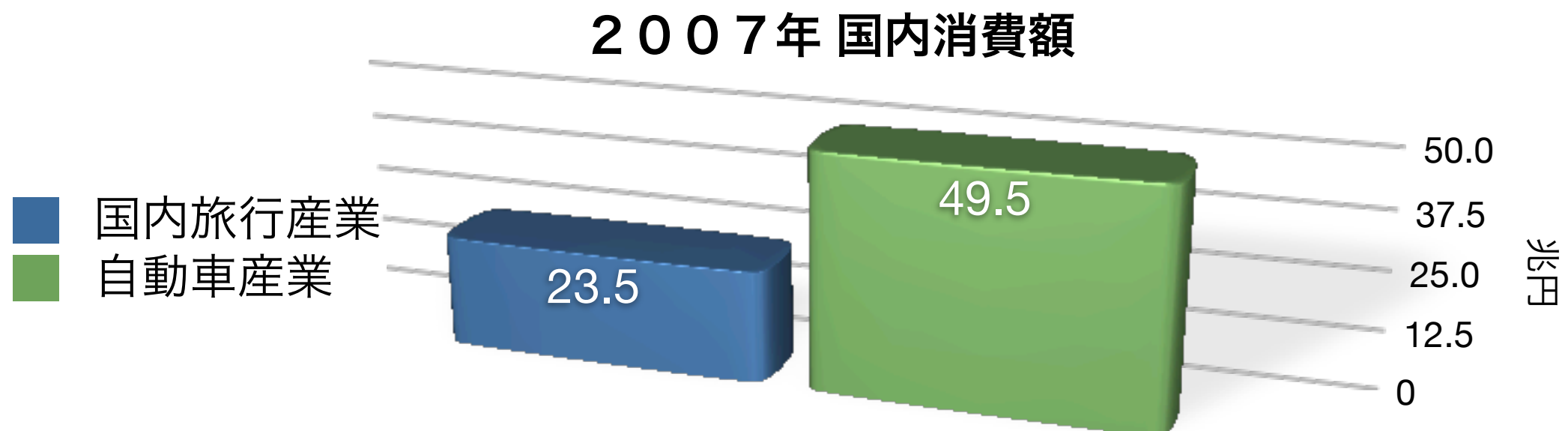
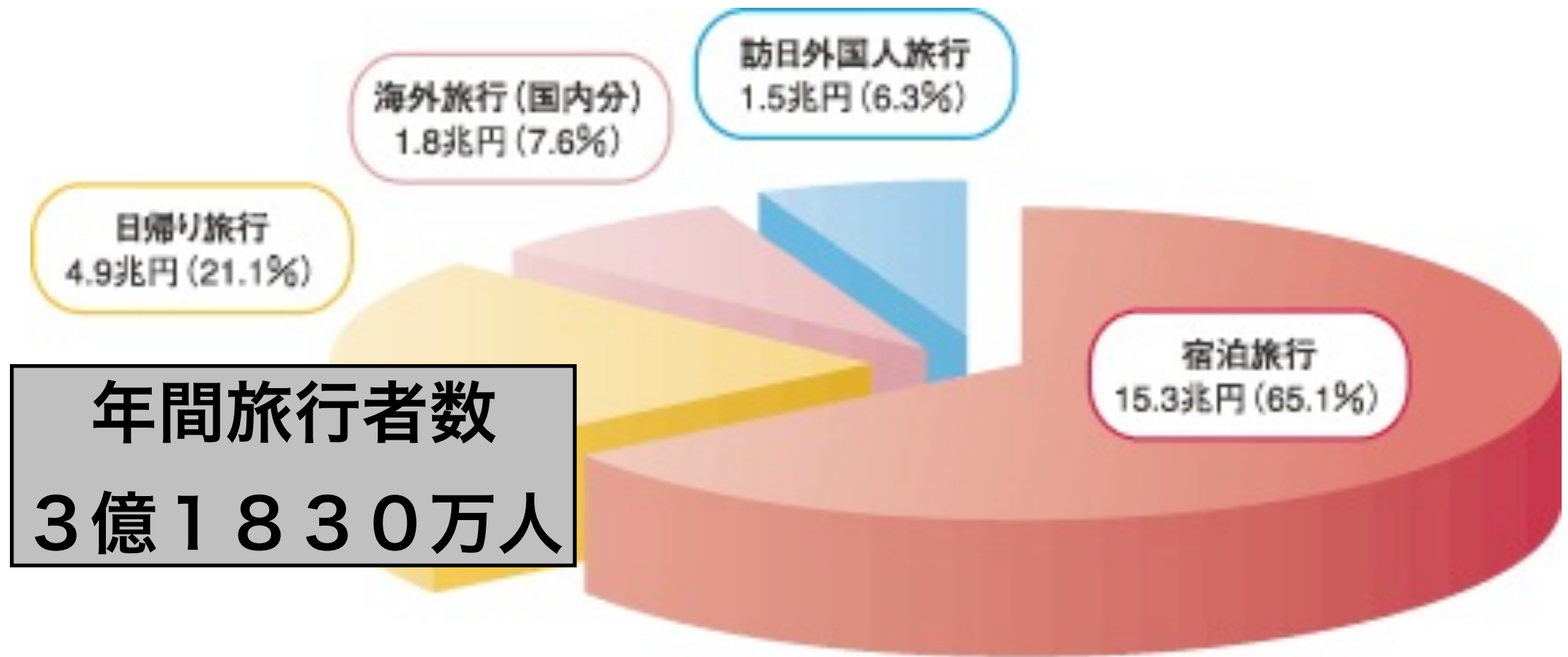
星野佳路

急増する国際旅行市場



資料：世界観光機構 (UNWTO)

国内旅行市場は意外に大きい！



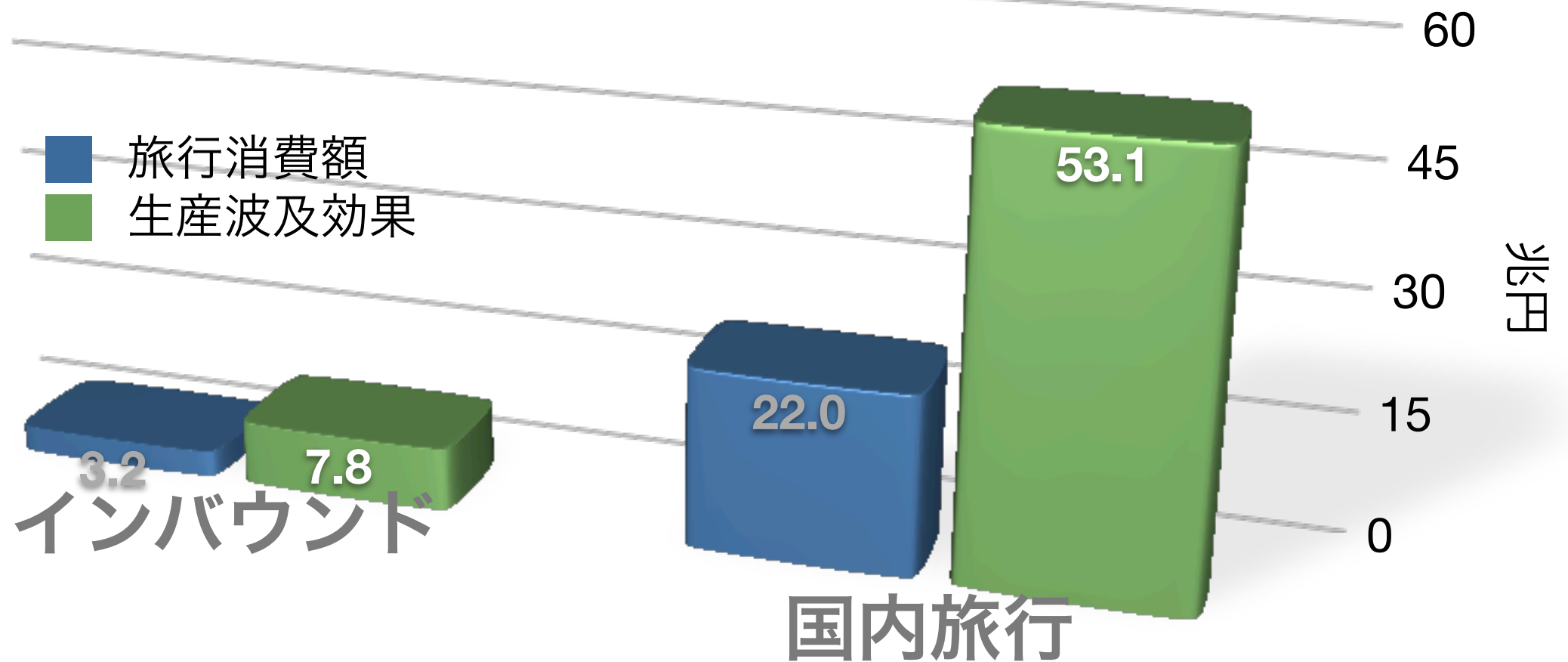
国内市場とインバウンド、 経済効果を比較すると。。。。

インバウンド2,000万人市場

旅行消費額：3.2兆円
生産波及効果：7.8兆円

安定した国内旅行市場

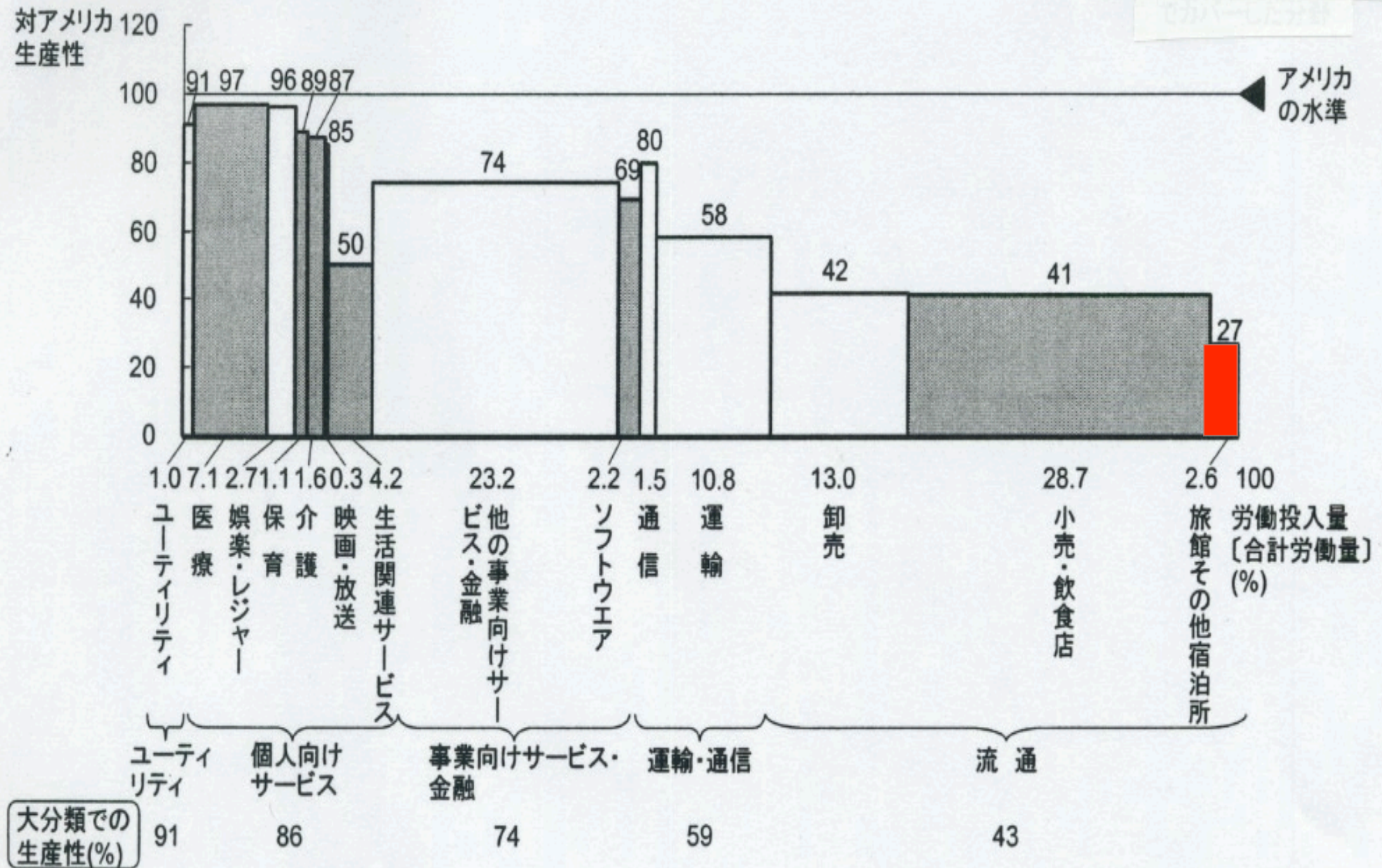
旅行消費額：22兆円
生産波及効果：53.1兆円



直接雇用：29万人
波及効果：64万人

直接雇用：211万人
波及効果：441万人

サービス業の生産性 中分類



資料: 付属資料参照、マッキンゼー分析

日本の観光産業の課題

供給側の課題

魅力 (⇨商品力⇨集客力)

収益力 (⇨効率⇨利益率)

需要側の課題

繁閑の差 (⇨休みの分散)

高い交通費 (⇨LCC、高速道路)

地方には魅力があるのに 国内観光地が低迷する訳

100日の黒字 265日の赤字

年末年始、ゴールデンウィーク、夏休み、それ以外の土日

上記以外の
平日

需要が集中する結果：

1. 繁忙日は高速道路が渋滞
2. 繁忙日は全ての料金が高い
3. 繁忙日は満室で泊まりたい所に泊まらない
4. だから旅行を止めてしまう
5. 事業者利益は頑張っても頑張らなくても同じ
6. 固定スタッフを雇えない → 優秀な人材がとれない

顕在化しない
埋蔵内需

だから今こそ、需要の平準化策 ゴールデンウィークの地区別取得

国内地域毎に8つの地区に分けてGWを取得すれば、
5月1日から6月30日まで需要が平準化する。

関東の例： 埼玉県のGWは5月の1週目
神奈川県は5月の2週目
千葉県のGWは5月の3週目
東京A区のGWは5月の4週目

実はコレ
フランス、ドイツ、フィンランド
などではすでにやっている！

需要平準化

経済効果

消費者

混雑
解消

交通・宿泊料金低下

希望施設宿泊可

満足度
向上

埋蔵内需の
顕在化

観光宿泊産業
の競争力

稼働向上
& 平準化

派遣中心から
固定社員中心へ

サービス質的向上

頑張る
施設は
利益増

設備投資

建設・金融・
農業への
波及効果

訪日外国人集客

施設の
近代化

ソフトの
改善促進

世界市場
で魅力向上

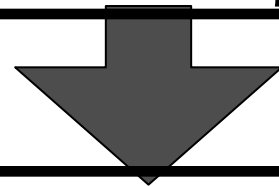
観光立国へ
大前進

アジア市場をふまえた需要の平準化



インバウンドが少ない時に国内は休みを取って、

内際での平準化



年末年始→旧正月→春のGW→夏休み→国慶節→秋のSW
通年で需要が平準化され、経済／雇用効果大